

目標達成計画

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議は2ヶ月に1回、定期的に開催されているものの、内容をまとめた議事録の確認が出来ないものがある。	議事録の作成と地域の方々やご家族への公表を行っていきます。	議事録のホーム内の掲示、地域の回覧板等の活用。	2ヶ月
2	6	身体拘束に関するマニュアルは閲覧できるようになっているが、職員全体に浸透していない。また、玄関が電子施錠になっているため、自由に出入りができない。	身体拘束についての知識を高め、身体拘束をしないケアを実践する。	身体拘束についての研修の実施や書籍の回覧、会議での話し合いにより、安全を確保した上で身体の拘束をしない方法を検討していく。	4ヶ月
3	10	苦情担当者の明示やアンケートは行われているが、家族会の設置は行われていない。	ご家族からの意見を吸い上げる機会として、ご家族が集まり話合いの行える機会を設けていく。	他のグループホームを参考に、地域包括支援センターや地域の方々と協力して、取り組んでいく。	6ヶ月
4	24	アセスメントシートに、これまでの生活歴の記入欄が少ない。	一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方を把握し、より快適な生活の実現を目指していく。	書式の見直し、より有効な活用のために、研修を実施していく。	3ヶ月
5	35	定期的な避難訓練が実施されており、地域との協力体制は構築できているが、事業所独自の避難訓練の実施に取り組むことが必要。	昼夜問わず、安全に非難のできる体制を構築する。	定期的な非難訓練と、日ごろからの意識付けを会議等の場で行っていく。	4ヶ月